

# 『Pastel Living 鶉の木』の現状と課題

社会福祉法人睦月会 理事長  
日本福祉大学福祉経営学部

教授 綿 祐二

# 睦月会の医療的ケアの基本的考え方

## □ 国の方針（第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画）

1. 重層的な地域支援体制の構築を目指すための児童発達支援センターの設置及び保育所等訪問支援の充実
2. 難聴児支援のための中核的機能を有する体制の構築
3. 主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所の確保
4. 医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置及びコーディネーターの配置

## □ 障害児者の将来の生活設計⇒地域での生活

## □ 地域生活を継続していく上で医療的ケアが不可欠である

## □ 地域生活におけるの環境整備

## □ 『重度障害児者に対する医療的ケアのガイドライン』作成

# 睦月会の医療的ケアの基本的考え方

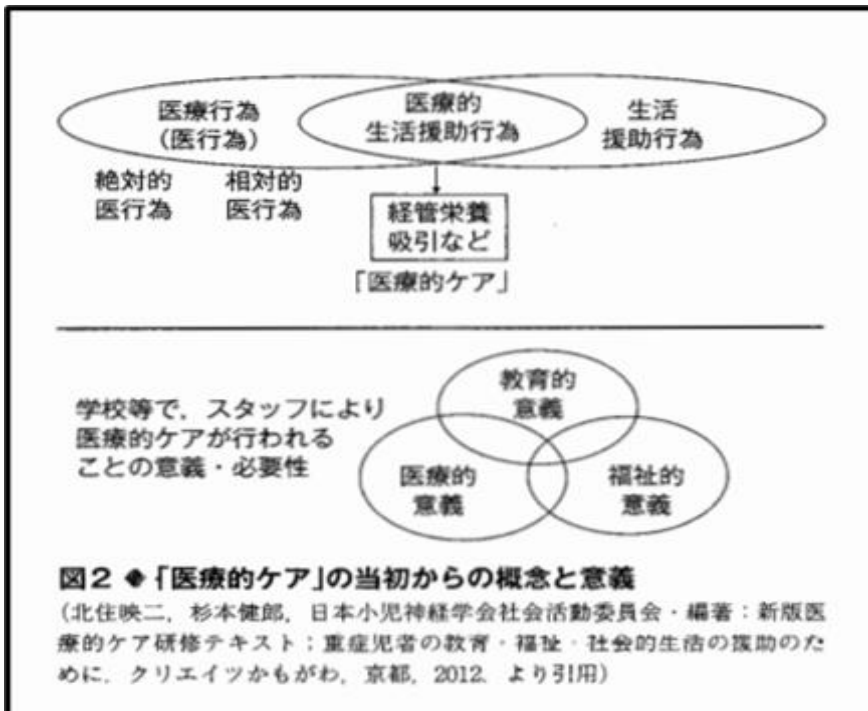
□ 睦月会では、事業所で行う医療的ケア  
「医療的生活援助行為」とらえ、



気管切開  
吸引



胃瘻  
注入



# 睦月会の医療的ケアの実施状況

## 医療的ケアの実施事業所

- 東京都施設活用型重症心身障害者通所事業(生活介護)
- 医療的ケア対応共同生活援助(グループホーム)  
(西東京市・大田区)
- 医療型放課後児童デイサービス(西東京市)
- 障害者支援施設(国立市・江東区)

大島の分類

21	22	23	24	25
20	13	14	15	16
19	12	7	8	9
18	11	6	3	4
17	10	5	2	1
走れる	歩ける	歩行障害	座れる	寝たきり

## 実施している医療的ケア

(睦月会医療的ケア実施要項 第4条 参照)

- (1) 経管栄養(経口、経鼻、胃瘻、腸瘻)
- (2) 与薬
- (3) 吸引(口腔、鼻腔)
- (4) 酸素の管理
- (5) 薬液の吸入
- (6) 導尿、またはその器具の管理
- (7) 膀胱瘻、またはカテーテル挿入部の衛生管理、器具等の管理
- (8) 膀胱洗浄
- (9) エアウェイの管理(口腔、鼻腔、)
- (10) 褥創処置
- (11) 点滴の抜針
- (12) 浣腸
- (13) 排便
- (14) ストマの管理、またはその器具等の管理
- (15) 傷部やデキ物への消毒、塗薬の塗布
- (16) その他、担当主治医の指示で認められた範囲

**+** 呼吸管理

# 医療的ケア対応共同生活援助 (グループホーム) での課題 ①

## 嘱託医(指導医)の介入方法



# 医療的ケア対応共同生活援助 (グループホーム) での課題

## 嘱託医(指導医)の介入方法

### ケース① (西東京)



主治医 = 事業所嘱託医/指導医



- 先天性ミオパチー / 喉頭軟化症
- 呼吸器使用による呼吸管理 / 胃瘻

- ◎ 主治医と直接利用者の話ができる
- ◎ 急変時等の指示がすぐにもらえる
- ◎ お互い保護者から聞き取れない部分の情報が共有でき、薬等の調整ができる
- ◎ 医療的ケアの手技において心配な場合は指導を仰げる

### ケース② (大田区)



主治医 ≠ 事業所嘱託医/指導医



- 脳性麻痺 / 難治性てんかん
- 発作時酸素使用 / 腸瘻

- ◎ 書類のやり取りのみ(医療的ケア実施報告書)
- ◎ 指示書の変更等に時間を要する
- ◎ 訪問看護の調整
- ◎ 保護者を介するため、必要な事項が伝わりにくい
- ◎ 介入しにくい

# 医療的ケア対応共同生活援助 (グループホーム) での課題

地域で安心して過ごせる居場所づくりに必要なこと

## 課題の整理

### ○ 事業所の環境

→建物(活動室等)の構造

→看護師・支援員の経験・知識(スキル)

医療的ケア児に対する経験・知識



基本的な看護技術・支援技術

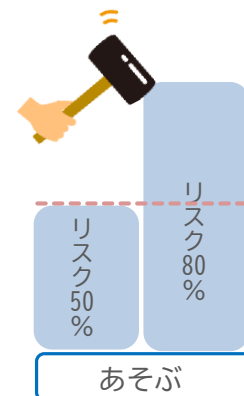
### ○ リスクの考え方の共有

→医療職・福祉職・家族、それぞれの立場で

リスクの考え方を把握し、1番良い方法を導き出す

### 医療職と福祉職の連携

医師の指示を基に  
考えられるリスクに対し  
対応策を一緒に考える





# 地域生活における医療的ケアの課題

## □ 主治医の指示書

⇒ 事業所でできることとできないこと

⇒ どこまで、調整が可能なのか

⇒ 訪問看護との調整域

⇒ 主治医と指導医(嘱託医)との連携

## □ 看護師の意識の格差 & 力量

⇒ 看護師の医療的ケアの考え方の差異

⇒ 看護師の力量

⇒ 看護師の配置



# 地域生活における医療的ケアの課題と 医療的ケア児コーディネーターの役割

## □リスクに関する意識の差異

⇒家族、事業所のリスクに対する差異

⇒個のリスクの基準

⇒緊急時の対応

⇒災害時の対応

⇒BCP & BCMの発動

⇒72時間非常用電源の確保

## □医療的ケアのガイドラインの管理

⇒事業所としてのリスク管理